

平成23年7月11日

保護者の皆様へ

つくば市教育委員会

## つくば市立幼稚園・小中学校における放射線への対応について

福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質の影響により、つくば市内の学校でも通常の自然放射線量より高い数値が観測されています。このことについては、国からの発表だけでなく、テレビ・新聞・書籍等のマスコミからの情報、さらには、インターネットなどで飛び交う情報が錯綜し、保護者の皆様からも数多くのお問い合わせをいただいているところです。

つきましては、放射線に関する現状とつくば市教育委員会としての対応状況をお知らせいたします。なお、今後、国や県からの情報及び学校の状況調査の情報を公開するとともに、状況変化があった場合には迅速に対応いたします。

### 1 放射線量の状況

つくば市の空気中の放射線量は3月17日以降減少を続けており、市内各学校の基準地点（校庭中央：中学校で地上100センチ、幼稚園・小学校で地上50センチ）で毎時0.1マイクロシーベルトから0.3マイクロシーベルト程度となっています。比較的数値の高い地域においても、活動制限の必要なレベルとして示されている値（毎時3.8マイクロシーベルト）を大きく下回っております。

また、つくば市では、4月以降、放射性物質が降下している状況は観測されておりません。（産業総合研究所観測データから）

### 2 学校生活にかかわる対策

安全・安心な学校生活のため、国の基準に沿って以下のような対策をとります。

#### 放射線量の測定

5月、6月に市内幼稚園・小中学校の定点測定（校庭中央の地上1センチ、50センチ、100センチ）を行いました。7月以降当分の間、月2回の測定を行い、市のホームページに公開いたします。

また、定期の定点測定の外、各幼稚園・小中学校が、教育活動に合わせて随時必要な箇所の線量測定を行えるよう、市の測定器を貸し出しています。

測定した結果については、各学校ごとに対応判断のための情報として活用いたします。

文部科学省は、国際放射線防護委員会（ICRP）の参考レベルを基準として、3.8マイクロシーベルト/時以上になった場合は屋外活動を制限することとしています。その上で、可能な限り低減を図っていくという意味で、学校等（登下校を含む学校生活）で児童生徒が受ける線量の目標を1ミリシーベルト/年（平常時の線量限度）としています。

学校生活を登下校や部活動を含めて1日9時間（放射線量を屋外の10分の1にする効果のあるコンクリート校舎内で5時間、校庭での授業・部活動や通学で4時間）、年間200日で試算しますと、年間1ミリシーベルトを越えるのは、毎時1マイクロシーベルト以上の場合であり、現在、つくば市でこれに該当する学校はありません。

学校における累積線量の計算式（毎時0.3マイクロシーベルトの場合）

$$(0.3 \div 10 \times 5 + 0.3 \times 4) \times 200 = 270 \quad \text{年間：} 270 \text{マイクロシーベルト} = 0.27 \text{ミリシーベルト}$$

#### 空間線量を下げるとの方策

文部科学省は、校庭において空間線量が1.0マイクロシーベルト/時以上になった場合に校庭の土の削り取りが有効であるとしています。つくば市の学校においても、定点観測（校庭中央100センチ・50センチ）で1.0マイクロシーベルト/時を越えた場合は、県や国と協議して、校庭の土壌の削り取り等の対応を検討します。

現状では、子ども達が通常活動する場所で毎時1マイクロシーベルト（中学校：地上100センチ、幼稚園・小学校：50センチ）を越えるところはありませんが、今後、局所的に毎時1マイクロシーベルト（中学校：地上100センチ、幼稚園・小学校：50センチ）を越える場所があった場合は、清掃や立ち入りの制限等、敏速に対応してまいります。

#### 受ける線量をできるだけ低く押さえるための方策

つくば市は特別な対応の必要な地域ではありませんが、より安心な学校生活のための具体策として、以下のような対応を呼びかけております。

- ・土や砂を口に入れない。
- ・外で遊んだら、うがいをし、手や顔についた土や砂を洗い落とす。
- ・登校、登園時や帰宅時に靴の泥を落とす。衣服に付着した土やほこりな

どを払い落とす。

- ・風が強いとき，土ぼこりが多いときは窓を閉める。
- ・雨が降っている時は傘を使う。

I A E A（国際原子力機関）のシナリオに基づいた試算によると内部被曝の影響は全体の被曝の平均2%程度と評価されています。

（ 文部科学省資料「保護者の皆様へ 放射線で気をつけたいこと」）

給食の安全について

給食の食材については，県のサンプリング調査等により安全性を確認した農畜産物を使用しています。なお，牛乳については，定期的に放射性物質の検査を行っており，検査の結果は市のホームページ（教育委員会健康教育課）に公開しております。放射性物質は検出されておられません。

食材への不安から給食や牛乳の停止を希望される場合には，申し出をお願いしております。

飲料水の安全について

つくば市の上水道の水源である霞ヶ浦（西浦）の検査の結果，放射性物質は検出されていません。また，地下水を水源としている簡易水道（4地区8か所）の水質検査の結果，放射性物質は検出されていません。

プール学習の安全について

プールには水道水・井戸水が使用されていますが，いずれもモニタリング検査が行われており，放射性物質は検出されていません。また，ちりや雨などに含まれる放射性物質を検査する「放射性降下物検査」でも関東各地で6月は不検出が続いていることから，雨水にも放射性物質はほとんど含まれていないと考えられます。

念のため，各学校のプール水面の放射線量を計ったところ，どのプールも，平常の自然放射線とほとんど変わらない低い値でした。プールサイド表面も校庭表面より低い値でした。

なお，放射線への不安から水泳授業を辞退する児童・生徒には，柔軟に対応いたします。